

それぞれに共通するのは、終了した直後の舞台側と観客側との熱い一体感です。明日のエネルギーに通じること請け合いです。

庁議における市長からの話(指示)

(説明: 毎週 1 回、市の幹部職員からなる庁議(「庁内連絡会議」と称していた)において、市長から幹部職員に話した内容を当時の手持ちメモから書き表したものです。このいわば市長指示は、およそ 1,300 人の全職員に伝わっていくことになります。)

★ H19.4.某日 の市長からの話(指示)

- ① 市長への協議等資料は事前に秘書に渡しておいてほしい。 ② 区長に十分連絡・協議のこと。 ③ 奥州大使の件、施設命名権の譲渡の件

★ H19. 4 某日 の市長からの話(指示)

- ① 職員の祭り参加を評価。ただし、勤務中(現場往復含む)の買い物に注意のこと。
② 連休中の連続休暇を推奨 ③ 奥州エフエム放送の活用



市の花鳥木パネルの除幕

(H19. 6. 25)

★ H19.5.7(月)の市長からの話(指示)

- ① 合併事務調整機能の再設置を行う。 ② 各総合支所に市総合計画の目指すべき都市像「歴史息づく健康文化都市産業の力みなぎる副県都」の標語を表示(看板設置)する。 ③ 市長マニフェストの 1 年目検証のことを記者会見で話したい。

★ H19.5.21(月) の市長からの話(指示)

- ① 小児夜間診療所の開設 ② 衣川診療所に医師 1 人を確保③競馬関係協議スタート

★ H19.6.4(月) の市長からの話(指示)

- ① サマータイムにエントリーしていきたい ② クールビズを実施
- ③ 参議員議員選挙開票事務の迅速化に取り組む

★ H19.6.18(月) の市長からの話(指示)

- ① 姉妹都市厚真町のいなか祭りに参加 ② 公用車を使用しての職員による事故の防止

★ H19.7.2(月) の市長からの話(指示)

- ① 地元業者による JV(共同企業体)を活用していきたい。塗装工業会からも要望があった。 ② 行事でのクールビズに統一し クールビズで行事出席
た服装をお願いしたい。 ③ 職員の夏休み休暇の計画的・連続取得を推奨したい。 ④ 総合計画の製本も完了したので大いに活用してほしい。



★ H19.7.17(火) の市長からの話(指示)

- ① 夏の服装については事前に打ち合わせ、関係者に連絡してほしい。
- ② 行事に関して金ヶ崎町と平泉町にも連絡するよう検討してほしい。
- ③ 人口定住と若者定着に力を入れていきたい。

★ H19.8.6(月) の市長からの話(指示)

- ① 産休・育休の取得しやすい職場づくりを進めたい。 ② ほうれんそう(報告・連絡・相談)を徹底してほしい。 ③ 競馬売り上げの向上対策を進めたい。 ④ 奥州 FM の活用とピーアールをお願いしたい。

★ H19.8.20(月) の市長からの話(指示)

① 仕事の進行管理は上司がしっかり行ってほしい。② 祭りと予算について検討したい。③ 参院選開票事務の改善度をお知らせする。④ 窓口職員は市役所の顔でもあり、同職員との懇談会を企画している。

★ H19.9.3(月) の市長からの話(指示)

① 仕事の企画立案は自信を持って行ってほしい。報告・連絡・相談を忘れずに。

★ H19.9.19(水) の市長からの話(指示)

① 職員の挨拶ということに留意してほしい。② 決裁書類を回す場合、事前の相談・協議の必要がないか検討してほしい。③ 急ぎの時や体調不良の時は遠慮なく業務用エレベーターを使用のこと。④ 災害対策を講じた場合、フォローしてほしい。



高校野球始球式にて

★ H19.10.1(月) の市長からの話(指示)

① 9月議会における付帯意見等をフォローしてほしい。② 今月7日からの国際姉妹都市グレーターシェパートン市(オーストラリア)を訪問するに当たり何点か申し上げる。i 公務出張4人のほか、私の妻を私費で参加させる。ii 公用携帯電話を持参(日本から随時連絡が取れる)iii 旅行前の協議をしっかりと行いたい。iv 職務代理者を置く。③ 幹部職員との懇談会を行っていききたい。

★ H19.10.15(月) の市長からの話(指示)

① グレーターシェパートン市訪問と成果 ② 10月29日正午にテレビ訓示を行う。③ 副県都構築のための大行事の誘致を検討したい。④ 窓

口職員との懇談会から何点か話す。

★ H19.11.5(月) の市長からの話(指示)

- ① 三役への協議は、部長協議を経て行うよう努めてほしい。
- ② 水沢病院基本問題検討プロジェクトチームを設置する。
- ③ 9月議会で宿題となったことへの対応であるが、12月議会に向けて明確化願いたい。

★ H19.11.19(月) の市長からの話(指示)

- ① 議員説明会での案件を話しておきたい。
- ② 総務大臣表彰(地方自治法施行 60 周年記念)に当市が輝いた件と私がマニフェスト大賞を頂いた件
- ③ 前沢総合支所の職員とのディスカッションから



★ H19.12.3(月) の市長からの話(指示)

- ① 各行政事務組合の統合議案の扱いと 1 月の臨時議会について
- ② 市町村合併研究会の立ち上げについて
- ③ 住民の気持ちを汲んだ行政点検を
- ④ 平成 20 年度の方向性について

★ H19.12.17(月) の市長からの話(指示)

- ① 平成 20 年新年の抱負について
- ② 水沢病院基本問題検討委員会に関わる人事異動について
- ③ 日中、市長との協議時間が取りにくいということがあるので、管理職相手のナイト協議(PM7 頃～PM8:30 頃)を週 2 回程度実施したい(希望のある場合)

★ H20.1.4(金) の市長からの話(指示)

- ① 新しい年を迎え積極挑戦の気風を
- ② 年末からの重要会議のフォローを
- ③ 臨時議会対応を万全に

★ H20.1.21(月) の市長からの話(指示)

- ① 来年度施政方針の担当部課レベルの原稿の件 ② 2月2～4日の市政懇談会(自治基本条例、0.4%条例、新組織機構)対応について ③ 組合統合議案が継続審査となった件 ④ 人事における女性登用

★ H20.2.4(月) の市長からの話(指示)

- ① 来年度予算査定が終了したので事業実施等準備を進めてほしい。 ② 行政組織と行政委員会分散が確定した。③ 人事異動は、本庁と支所との交流、支所間交流、国・県との交流を進めていく。

★ H20.2.18(月) の市長からの話(指示)

- ① 一部事務組合統合議案日程と対応準備 ② 商工団体の統合について



黒石寺蘇民祭(H20.2.13)

★ H20.3.3(月) の市長からの話(指示)

- ① 各区の市民劇の成功 ② 平泉の世界文化遺産登録を契機に新しい永続型の行事を ③ 職員への手紙に記した3点(水沢病院基本問題検討、市町村合併、職員意識改革等) ④ 提案型の協議を

★ H20.3.17(月) の市長からの話(指示)

- ① 文書の発出名義をよく検討し、また、担当部署名を記載してほしい。
② 職場標語について ③ 3月19日に人事内示をするので、引継ぎなどに遺漏のないようにしてほしい。④ ビック事業やイベントについて提案型誘致を目指していきたい。



2008(H20).3
石田運転手
と(於自宅)

年度始め・年末年始における職員への挨拶

H19.4.2(月)

年度始めにおける挨拶(訓示)

- 1 合併して2年度目である。合併時の約束、履行は確実に行っていききたい。市民一人一人に“合併して良かった”という実感が出るように頑張っていきたい。職員の皆さんには汗と知恵をもってご尽力いただきたい。
- 2 総合支所間の人事交流に象徴されるように新市職員としての一体感を一層醸成して頂きたい。
- 3 副県都を目指す新市の職員として、①企画力をもって目標を立て②問題解決能力を高めつつ実行し③成功するまで諦めないように心掛けて頂きたい。

H19.12.28(金)

年末の御用納め式における挨拶(訓示)

- 1 この1年のご尽力に感謝申し上げます。1年を振り返ると次のような事業や出来事がありました。
 - (1) 岩手競馬の存続決定
 - (2) イコモス(国際記念物遺跡会議)の現地調査
 - (3) 9月17日～18日の大雨洪水
 - (4) 水沢病院に公営企業アドバイザー
 - (5) 一人一改善運動(職員)
 - (6) 行政組織機構の条例可決



H19.12.2 鞍馬寺信樂香仁貫主
に奥州大使委嘱状を差し上げる

このような状況の中、私自身は、月に半日の休みがあれば良しでした

し、ゴルフ 2 回、囲碁 1 局、俳句は俳句名刺を作ったのみといった風でした。

- 2 年明けの抱負は、職員の皆さんへの手紙でも述べたところですが、任期の折り返し点を意識し、合併の成果を検証しつつ、総合計画・行革計画・新市建設計画を基本に副県都構築に邁進します。

さらに、大きな課題として次のことに取り組みます。

- (1) 世界文化遺産登録対応
- (2) 地区センター構想推進、自治基本条例制定
- (3) 当初からの課題である岩手競馬問題、水沢病院改革、土地開発公社の負債解消

なお、先の全国マニフェスト大賞受賞の際に共に壇上に並んだ東国原宮崎県知事のトップセールスを私も心掛けてまいります。

- 3 この 1 年の疲れを落とされて英気を養って頂きたいと思います。

私自身は、2 歳半の孫 3 人とコーギー犬と遊んでリフレッシュしたいと考えています。

H20.1.4(金)

年始の御用始め式における挨拶(訓示)

- 1 昨年 1 年間のご奮闘に 心から感謝します。総合計画策定、行革推進、MF(マニフェスト)推進、災害対策など多大の成果を挙げて頂きました。特に NPM(ニュー・パブリック・マネジメント)においては、ほとんど全職員が参加して、一人一改善運動に取り組むなど、職員の意識改革が向上したと思います。



H20. 1. 28 奥州市民文士劇の楽屋にて

- 2 今年は、次を目指して職員一丸となって頑張っていきたいと思います。
- (1) 合併の成果を検証しながら、さらなる前進、とくに、同じ奥州市としての一体感の醸成
 - (2) 副県都創造に向けた事業の充実・推進(ソフト・ハード)

- 3 市役所 1300 人余の職員の皆さんが、市民目線に立った仕事を意欲的に行うかどうかは市勢の発展がかかっていると思います。このため、積極果敢に挑戦する気風を育てたい。
- 4 組織機構改革、行政委員会の分散配置について、十分理解と協力を願うとともに、これを生かしたダイナミックな仕事をお願いしたい。
- 5 終わりに、今年も職員とのディスカッション、職員への手紙発出、ナイトトークなどに努めたいと思います。

市長のテレビ訓示(第 2 回)

説明： 課のテレビまたはパソコン画面を活用して行ったものです。正午から 15 分間の生放送です。以下の文は、放送原稿要旨です。下の写真は旧江刺市長時代のもので、イメージとしてご覧ください。

H19.10.29(月)

- 1 職員の皆さん、こんにちは！ 日夜のご奮闘に感謝いたします。
- 2 職員の皆さんには、毎月「ご苦労様 市長です！」を差し上げていますが、顔の見える形で、話すことも大切です。年度初めと仕事始めの際に集まっただいて訓示を行っていますが、そのほかにこうした TV 訓示を行っています。



奥州市長として 2 回目であり、昨年とほぼ同時期です。
若干の間、仕事の手を休めて、お聞きください。

2 新市の基礎固め

昨年 2 月の新市発足以来、1 年と 3 分の 2 が早くも経過しました。この間、昨年度の合併初年度には、①新市建設計画の確立、②「歴史息づく健康文化都市・産業の力みなぎる副県都」を都市像とする市総合計画策定、③5 年間で 74 億円を生み出そうとする市行財政改革計画樹立を行いました。

まずは、これを着実に、また、事態に応じ臨機応変に適切に遂行していくことです。

3 個別の当面する重要課題

①岩手競馬の再生 ②総合水沢病院経営改革 ③中心市街地活性化計画樹立 ④地区センター構想の推進 ⑤一部事務組合統合 ⑥マニフェストの実現

4 市役所の組織改革と職員のやる気を引き出すシステムの構築

①来年 4 月からの大幅な機構改革と行政委員会などの分散配置 ②一人一改善提案の着実な実施、業務実績に応じた人材の登用

5 おわりに

心と身体の健康を保持し、副県都を目指す自治体職員として高い意識を持って邁進を！



※ 説明：毎月 1 回、全職員の卓上パソコンにメールで送信したものです。
毎号に何らかの画像を付しています。

H19.4.26(木)

拝啓 新年度入り早々に、通常業務に加え、春まつり行事等が目白押しで、気が休まらない日々が続いていると拝察しますが、お変わりありませんか。

この手紙のスタイルを新年度から若干変えましたが、基本的には、これまで同様、月1回差し上げたいと考えています。



ウスバサイシン(注)

4月2日の辞令交付の際の職員訓示におきましては、次の3点を申し述べました。

- ① 奥州市合併の実質2年目に入るが、合併時の約束事項は、ハード事業などにおいて概ね達成できる見込みであり、今後、ソフト事業的観点で、市民が「合併して良かった」と実感できるように、それぞれの立場から努力してほしい。
- ② 総合支所間の人事交流に象徴されるように、新市職員としての一体感を一層醸成願いたい。
- ③ 副県都を目指す新市の職員として、まず目標を立て、問題解決能力を高めつつ、「成功するまであきらめない」気構えで、この一年を更に切り拓いてほしい。

上記に関連して、常日頃、住民と接する機会の多い担当の方々には、「住民の声を重視した施策の立案と展開」に一層心がけていただきたいと思います。何かとハードルが高いと感じられるでしょうが、市民に信頼され、支持される市政につながります。

また、以前も申し述べましたが、「まず市長の考えを聞いてから」、あるいは「まず上司の示す方向を見てから」という対応ばかりでは、人材は、育たないと考えています。

「自分ならこうする(こうしたい)」、「それで何か問題が起きた場合は、こういう考え・理論で乗り切っていこう」という仕事の進め方を更に身に付けてほしいと思います。そのための普段からの”総合的な勉強”も欠か

せないでしょう。

無論、最終的な責任は、市長にあります。思う存分ご活躍ください。

もう一つ、常に指摘される窓口対応のことです。市長のもとに寄せられる意見の最も多い分野です。この点、日々ご努力されていることと存じます。更に申し上げれば、来客があったとき、あるいは、その気配を感じたときは、顔を向け、笑顔で会釈していただくと、来られた方々は、ホッとして、話しやすく親しみやすい「オラホの市役所」を感じます。それぞれ工夫しながら対応願います。

おわりに、4月12日に奥州FM放送が開局しました。副県都を目指すうえで、大きな前進と思います。市内世帯の99.2%をカバーすることになります。行政情報、観光・物産情報・防災情報などに積極的に活用していきたいと思います。ちなみに、「チャンネルは、77.8」。

梅の花がしばみ、寂しいと思う間もなく、桜、桃、水仙が勢いよく咲き競い、まさに百花繚乱です。負けずに、張り切っていきましょう！

敬具

平成19年4月26日

市長 相原正明

(注) 写真のウスバサイシン(薄葉細辛)は、山地に自生する多年草で、地中に半ば埋もれて、紫褐色の花をつける。ヒメギフチョウ(蝶の一種で春の女神とも称される)の食草でもある。

H19.5.22(火)

拝啓 5月12日のオープンガーデン視察では、美しい花々と生き生きと輝く女性園主の姿に感動を覚えました。いかがお過ごしですか。

新年度に入って1か月余、新しい職場チームメートとのコンビネーションは、うまくいって **オープンガーデン視察風景**



いるでしょうか。何かと大変かもしれませんが、前年度と違ったパワーを生み出していただきたいと思います。

5月8日の定例記者会見では、マニフェストの一年目の検証(自己検証)結果を公表しました。内容は、市のホームページでご覧頂きたいと思いますが、今後、毎年チェックしながら、着実に実施していきたいと考えています。

また、5月に入って、以前から議会答弁などで話しをしていた、区長権限の拡大を行ないました。契約案件における専決額のアップと年度途中における職場間の職員応援態勢に関する措置権の明確化が主なものです。

区長制度が設けられた趣旨を改めて思い起こしながら、区長を中心とした弾力的かつ機動的な業務執行に努めていただきたいと思います。

なお、年度前半を目途に、区長と総合支所幹部職員による、きめの細かい住民懇談会をお願いする予定です。その後に、前年同様の市長と本庁幹部職員による各区1ヵ所での住民懇談会を実施したいと思っています。

さて、副県都を目指す取り組みは、容易ではありませんが、近年、企業誘致も好調であり、奥州市のくくりでの工業製造品出荷額が、平成17年の統計で花巻市を抜いて6位から5位になるなど、産業の生産力がアップしてきています。

6月1日には、医師会の協力で、画期的な小児夜間診療所(市営・水沢区内・盛岡市に次いで2例目)が、オープンします。

こうした取り組みを一つずつ積み上げていきたいと思っています。

なお、現在「歴史息づく健康文化都市 産業の力みなぎる副県都」の標語板を本庁舎正面玄関付近に掲げているところですが、他の4総合支所庁舎付近にも掲げる予定です。

この時期は、飛行機の離陸・航行にたとえれば、そろそろ安定飛行に入り、シートベルトの着用サインが消える頃です。心身の健康を保ちつつ、存分にご活躍ください。

敬具

平成19年5月22日

市長 相原正明

H19.6.25(月)

拝啓 家の裏庭の緑濃い茂みの中に、小さな赤いバラの花々が咲いている風情に見とれておりますが、その後お変わりありませんか。

常日頃のご奮闘に感謝いたします。

6月16～17日の北海道厚真町(旧前沢町時代からの姉妹都市)の田舎まつりに参加してまいりました。苫小牧市の東隣で人口約5,200人の町です。

厚真町には、旧前沢町から10人の花嫁が、昭和25年から49年にかけて嫁いでおり、そのご縁で昭和58年に姉妹都市締結したものです。



こぶしの湯あつま(町営)

16日は、町役場付近の公園で、前夜祭があり、写真の宿に泊まり、ラドン温泉(人工)に浸かりました。翌日は、町中

心部から北東に約20キロ進んだ厚真ダム(昭和45年頃完成。総貯水量1,008万トン)付近の山あいの広場で、「あつま田舎まつり」に参加しました。前沢牛まつりの原型でもあり、前沢物産テントもありました。

今後さらに姉妹都市交流を活発にしていければと思います。

さて、6月定例市議会では、20人の一般質問もあり、活発な議論が交わされました。今後の施策に生かしていかなければなりません、中でも厳しく指摘された「公用車での交通事故の多発」については、是非皆で気を引き締めて取り組みたいと思います。

子育て環境ナンバーワン施策の展開に関して、「市長は、出産前後の職員に声を掛けたことがありますか」という問いもあり、近いうちに該当する職員の方々と意見交換する場を設けたいと考えています。

ところで、サマータイムをご存じですか。夏の間、1～2時間ほど時間を早めて、仕事を開始し、また、終了させる取り組みです。省エネ、買い物・レジャーによる経済活性化、家族ふれあい時間の増大などが期待できます。

日本では、札幌での取り組みが有名です。

6月21日、奥州市内では、水沢青年会議所が主催して、昨年に続き、2回目の取り組みがスタートし(8月11日まで)、今回はじめて、胆江広域水道企業団事務所(職員7名)が参加しました。1週間の参加予定(勤務時間を1時間前倒し)ですが、公的機関からは、初の参加(北海道以外では唯一とみられる)、しかも事務所丸ごと・全員参加の形であり、インパクトも大きいようです。

企業団職員に感謝すると共に、今後市の機関のさらなる取り組みにつなげていきたいと思います。

最後に7月の参議院選挙の開票時間短縮の取り組みについてです。4月の統一地方選挙においては、全国市町村で意欲的な挑戦が行なわれ、広島県三次市などでは、特別のチャレンジマニュアルを作成して実践し、大きな成果を挙げました。

こうした取り組み事例や考え方などは、先月に奥州市で講演いただいた北川正恭早稲田大学大学院教授の話の中でも強調されました。

奥州市においても様々な工夫が行なわれ、一定の成果を挙げたところですが、私としては、開票時間の短縮はもとより、職員の士気高揚の観点からも、選挙管理委員会と十分協議の上、さらに力を入れて、積極的に取り組みたいと考えています。

すでに、6月20日には、選管書記と市長部局併任書記からなる「選挙開票事務効率化検討プロジェクトチーム」(8人)も設置され、動き出したところです。

是非ご理解・ご協力をお願いします。

この手紙を書き終わった瞬間に、窓から見える杉の梢は微動だにしません。ふと、暑い夏になるかもしれないと思いました。どうぞご健勝でご活躍ください。

敬具

平成19年6月25日

市長 相原 正明

H19.7.23(月)

拝啓 雨の中では、紫陽花、晴れた日には、凌霄花(のうぜんかずら)が一番と思うこの頃ですが、お変わりありませんか。

毎日大変ご苦勞様です。

先日の庁内連絡会議でも話しましたが、すっかり定着した感のあるクールビズについて、様々な場面で戸惑うことがあります。

基本方針や実施マニュアルが特に定められていないせいもあります。



小岩井農場の一本桜(注)

地球温暖化防止に向けた省エネルギー実施国民運動の一環と考えれば、市内外を問わず、基本的にノーネクタイで良いかと思います。住民の方々の意識啓発に繋がることが期待されます。

それにしても、一定のルールとして定着するまでは、行事ごとに検討し、少なくとも市側の出席メンバーは統一し、また相手側とも事前連絡が必要と思われます。

さて、今月 20 日に「新潟県中越沖地震災害職員応援派遣出発式」が、市長室で執り行われました。

市職員 4 人が、2 人 1 組となり、第 1 次、第 2 次とそれぞれ 1 週間ずつ柏崎市に出向き、農業集落排水処理施設管路災害調査に当たるものです。

派遣される職員の苦勞は、並大抵でないと察せられますが、このような災害対策応援は、自治体間・地域間で不可欠のものであり、被災地の 1 日も早い復興のためにも是非頑張ってきてほしいと思います。

連想的に思い浮かびましたのでお話ししますが、消防団員の定員確保策を検討しながら、市職員の団員加入を聞いたところ、衣川区を筆頭に多くの職員の方々が団員となって、忙しい公務の傍ら、消防団活動に汗を流していることが分かりました。

これらの職員の皆さんに改めて感謝するとともに、他の職員の皆さんにおかれても、なんらかの地域貢献活動にそれぞれの判断で参加頂ければありがたいと思います。

住民懇談会やトークデーにおいて、よく要望される分野でもあります。

ご家庭のことを始め、様々な事情もあろうかと思いますが、可能な範囲で宜しく願いいたします。

最後に、行財政改革運動の中で、「一人一改善提案」に取り組むこととしています。

従来からの未解決課題でも、コロンプスのタマゴのような一見気がつきにくいことでも結構です。この機会をそれぞれが活用して、明るく、少しでも働きやすい、市民に感謝される職場にしていってほしいと思います。

改善提案については、基本的に私がすべて目を通したいと考えています。
”奮ってご応募ください！”

昨日、水沢競馬場でキッズサッカーフェスティバルがありましたが、レッドカードやイエローカードではなく、良いプレーをした場合にグリーンカードを出すルールとの事です。

私たちの職場もこんな感覚で、万事前向きに進めたいと思いました。

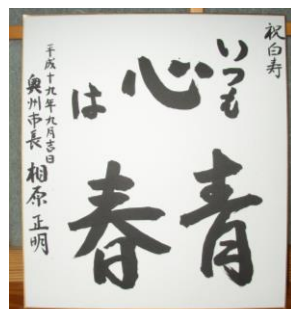
ますます暑さが募る季節ですが、夏ばてに負けずにご活躍ください。

敬具

平成 19 年 7 月 23 日

市長 相原正明

(写真注) 現在、NHK 朝の連続テレビ小説
「どんど晴れ」が放映されていますが、その中で毎回映し出される小岩井農場(雫石町)の一本桜(エドヒガン桜、樹齢約 100 年)を私が 7 月中旬に撮影したものです。



H19.8 色紙作成

H19.8.22(水)

拝啓 グラジオラスの花も散り、蜻蛉の姿は見えないまでも、虫の音とともに秋が忍び寄る気配を感じるこの頃ですが、お元気ですか。

日ごろのご奮闘に感謝いたします。

この夏は、記録的な猛暑続きで、遂に石淵ダムからの農業用水の取水断水にまで至り、一時は、渇水総合対策の必要を思いましたが、その後の降雨で大事に至らずに済んだようです。また、一方では、リンゴ園などへの大きな降雹被害もありました。



奥州ころもがわ祭り

宮澤賢治の「雨ニモ負ケズ」の一節「ヒド(デ)リノトキハナミダヲナガシ サムサノナツハオロオロアルキ」を思い出したところです。

さて、先月 29 日の参議院議員選挙の開票においては、選挙管理委員会の指揮のもと、職員の総意工夫による総力を結集した結果、多大の成果を上げました。

既に、様々の角度から報道されていますが、前回の参院選との比較で、「事務従事者一人当たり 1 分間開票数改善結果」が、2.15 票と県下第一位となりました。

いわゆるチャレンジマニュアルを定め、原則全員参加によるリハーサルを行なうなどの努力の成果ですが、何よりも従事職員の熱意と実行力の”勝利”と思います。

本当に、ご苦労様でした。

話題は、変わりますが、20 日の議員説明会では、医師奨学資金貸付制度について、説明しました。水沢病院をはじめとした市立の病院・診療所の医師を自らの力で、確実に獲得するための措置です。9 月議会に条例提案し、年度途中からでも奨学生獲得に動きます。

基本パターンとしては、勉学期間 6 年プラス研修期間 2 年を経過した後

の9年目から成果が期待できるものです。

気の長いものではありませんが、医師確保に向けた”元気の旗印”にしたいと思います。

また、同説明会では、私のマニフェストの実践でもある「障害者が運営するコーヒーショップ」を市役所(本庁)1階に開設する案を示したところです。水沢区のひまわり園の知的障害者が、指導員の付き添いのもと販売に当たりますが、場所は、玄関を入れてすぐ右手(現在、消防の纏が飾ってあるところ)であり、9月補正予算で給排水等工事費が可決された後のオープンとなります。

積極的にご利用頂ければ幸いです。

最後に「ほうれんそう」の話をします。食べ物ではありません。報告・連絡・相談のことです。折に触れて取り組みを呼びかけてきたところですが、先日、市内のある民間会社のピーアール資料の中に、「報・連・相・打」を大切にしているという記載がありました。参考になると思います。

報＝報告は仕事の第一歩である。

連＝連絡を持って無駄をなくすべし。

相＝相談を持って新しい考え、方法を用いるべし。

打＝打ち合わせを持ってお互いの理解と信頼を深めるべし。

ころもがわ祭りでは、青馬(黒い毛の馬)に乗って、美しい蓮の花々を眺めながら、雨上がりの道を進みました。知らず、浩然の気を養ったような気がします。

どうぞ、季節の移り変わりを楽しみつつ、ご健勝でご活躍ください。

敬具

平成 19 年 8 月 22 日

市長 相原正明

H19.9.25(火)

拝啓 気が付くと黄金色の水田にホニオ(稲架)が立ち上がり、待ちかね

た稲刈りが始まっていますが、お変わりありませんか。

日々のご努力に感謝いたします。

まずもって、9月17日から18日にかけての「台風11号後の温帯低気圧による被害」にかかる災害対応では、大変ご苦勞様でした。これほどの北上川の増水と越水の危険が発生したのは、平成14年以来と思われますが、水沢区黒石町二渡地区を中心に91世帯329名に避難勧告を出すに至りました。



長沼町開基 120 年
記念式典

職員の皆さんには、災害対策本部の指令の下、夜を徹しての警戒や避難対策など大変尽力いただきました。関係機関同士の情報の伝達や住民への周知徹底などに課題を残しましたが、市民の安全と安心確保のため、今後とも迅速・的確な対応をお願い致します。

9月12日、上に掲げた写真の「長沼町開基120年記念式典」に出席してまいりました。

式典に先立ち、町役場構内にある吉川鉄之助翁の銅像前で、同翁の追悼式があり、板谷町長さんとともに大きな花輪を捧げてきました。

同翁は、安政6年(1859)、現在の奥州市水沢区で生まれ、札幌農学校の職員等を経て、明治20年夕張川河畔の長沼の地に入植しました。第一鋤者となり、長沼の発展の基礎を築いた開拓功勞者として、現在も尊崇を集めており、このご縁で、昭和48年に姉妹都市締結されたものです。開拓の苦勞の歴史(大雨のたびに排水できずに水浸しになる農地との格闘など)に思いをはせながら、今後の姉妹都市交流の進展を願ったところです。

ところで、10月7日から1週間の日程で、オーストラリアの姉妹都市グレーターシェパートン市(昭和54年旧江刺市で締結)を訪問してまいります。後日、報告したいと思います。

さて、この9月議会では、自治基本条例と地区センター構想の推進について、活発な質疑が交わされました。

このうち、自治基本条例の制定時期については、私のマニフェストで2

年以内としていることもあり、昨年度の年明けから取り組んでおります。市民を中心とした条例検討委員会や職員も加わったワーキンググループに大変な作業をこなしていただいているところです。

議会の論議では、8月25日のシンポジウムの様子も踏まえながら、もっと時間をかけて行うべきとする意見も出されました。

私としては、市民レベルでの議論の盛り上がりが大切であり、最終的には、その意見(制定時期を含む)を踏まえて、議会に提案したいが、現段階ではまずは具体的内容に即した議論・検討を進め、年度内制定を目標に着実に取り組みたい旨述べたところです。

また、地区センター構想については、現在、実施スタイルの違いはありますが、地域と地域住民主体の地域づくりを進めるため、水沢区、江刺区、衣川区(一部地域)で行っているところであり、未導入の区についても、それぞれの区の伝統・特色を生かしながら、早期に取り組みたい旨答弁したところです。

来年度からの試行実施を目標としながら、私自身を含めて、地域の振興会や関係者の方々の話を十分聞き、無理のない形で進めていきたいと考えています。

特に、心配の声のある「公民館活動の後退」を招かないような取り組みに留意してまいります。

同じく議会の議論の中で、「市職員の挨拶対応について、もっと民間のそれを見習ってほしい」旨の意見がありました。

それぞれの持ち場や経験を踏まえて、可能な限り工夫努力し、市民により親しまれる職場となるようお願いいたします。

いよいよ年度の後半入りです。どうぞご健勝でご活躍ください。

敬具

平成19年9月25日

市長 相原 正明

H19.10.25(木)

拝啓 グレーターシェパートン市では、リンゴの花が咲いていましたが、帰国してみると故郷のリンゴは早や真っ赤に色づいています。How' ve yow been ? お元気でしたか。

日ごろのご奮闘に御礼申し上げます。

10月7日から13日までのグレーターシェパートン市への公式訪問を無事終了してまいりました。訪問団は、一般参加者含めて17名でした。

8日にシドニーで、来年度から当市の職員1人が勤務することになる自治体国際化協会訪問し、オーストラリアの地方自治制度などの説明を受け、また、シドニーオリンピックパークなどを視察しました。

9日に空路メルボルン空港に着くと、ジェニー・フーラハン市長(女性)自らが、コクシニア(coccinea)ほかの花束(下の写真)を用意して出迎えてくれました。この日夜には、市庁舎内の部屋で歓迎レセプションがあり、互いに記念品を交換し、夕食を取りながら交流を深めました。



シェパートン市
庁舎前で同市長
と私

10日は、市庁舎内で当市持参の写真の展示会や当市が寄贈した桜と紅葉の記念植樹があり、午後には、両市長が交流計画書を確認の上サインしました。今後、中学生の毎年の交換交流を推進するほか、経済、文化などの交流に努めます。なお、4年後には、グレーターシェパートン市側からの公式訪問があります。

11日朝には、市長や議員(全員で7人。この中から市長を互選)の見送りを頂いて出立し、メルボルンに入り、世界文化遺産である王立展示館ほかを視察しました。

概要は、以上ですが、雨不足・水不足が大きな問題となっており、視察したある農家では、リンゴや梨などの耕作地約300haのうち、約50haにつ

いて水の利用料高騰のため、耕作を中止したとのことでした。10日の夜に予定外のプレゼントとして、同市にきたメルボルンオーケストラを鑑賞させて頂きましたが、その演奏時間帯にわずかに春雨があり、ホットした次第です。

職員の皆さんにも、今後の交流に積極的に参加頂ければ幸いです。

話は変わりますが、10月4日、窓口担当の市職員(いずれも主事)20人とディスカッションを行いました。日頃の窓口業務の苦労話とともに、積極的な提言もありましたので、幾つか紹介します。

「行政が何でもやってくれるとの甘えの人も多く、公平性や制度を説明しようとして苦勞することがある。そのような場合、上の役職の人から積極的に声をかけてほしい。」「プライバシー保護のため、カウンターに衝立をつけることも検討する必要がある。」「本庁と支所が混在している(水沢総合支所)ことから、電話の代表番号を分けた方が良い。」「健康福祉課と市民課が離れた庁舎にある(前沢ほか)ので、連絡が取りにくく、市民に不便をかけている面がある。」など貴重な意見が沢山ありました。

職場一丸となり、協力し合って、より良い窓口を構築していきたいと思っています。

最後に、生誕150年を迎えた後藤新平の東京市長時代の言葉を紹介します。

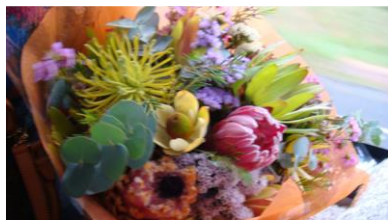
「一に金、二にも金、三にも金とはよく言うが東京市においては一に人、二にも人、三にも人だ。市の吏員となって自治のために尽くすということは、義勇奉公の一端であると考えようにならなければ東京市の自治は実現しない。一体どうやって人が生きて働くか考えると、健全なる市役所気質というものが形成されなければならない。そして、一般の商店や会社が、市役所で働いていた人なら是非ほしいというくらいの信用を世間から得なければならない。」

晩秋もいよいよ霜降(24日)が過ぎてしまいました。どうぞご健勝でお過ごしください。

敬具

平成 19 年 10 月 25 日

市長 相原正明



コクシニア(下部の橙色の花)ほか

H19.11.26(月)

拝啓 さる 18 日以降、例年より早い相当の積雪があり、早くも除雪費の増嵩が心配になり出しましたが、お変わりありませんか。

常日頃のご努力に感謝いたします。

まず、表彰 2 題。11 月 9 日、東京都港区六本木アカデミーヒルズで開かれた第 2 回「マニフェスト大賞 2007」で、首長部門審査委員会特別賞を頂きました。



マニフェスト大賞表彰式(注)

主催は、ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟、同首長連盟で、首長部門(地方議会部門ほかもあり)には、45 人がエントリーしており、既にそのうち 10 人が、大賞候補(ノミネート)となっていました。

大賞として、松沢成文神奈川県知事、審査委員会特別賞(準優勝相当)として、東国原宮崎県知事と私が、それぞれ表彰を頂いた次第です。

11 月 20 日には、東京都千代田区東京国際フォーラムで開催された地方自治法施行六十周年記念式典において、総務大臣表彰を頂きました。

受賞は、県からの権限移譲の大幅な受け入れ(県内第 1 位)、旧緯度観測所の本館整備・活用事業推進、平泉の世界遺産登録推進事業推進などの取り組みが評価されたものです。

県内自治体では、宮古市、遠野市が同様に表彰されました。

さて、行財政改革の一環として、NPM(ニューパブリックマネジメント)の取り組みをしており、その中で、「一人一改善運動」を展開しているところですが、9割以上(91.4%)の職員の皆さんに参加をいただき、大変意を強くしているところです。提言内容は、私自身、すべてに目を通す予定です。可能なものは、直ちに実行してまいりたいと思います。

職員とのディスカッションについては、今回は、前沢総合支所の補佐・係長級の皆さんと行いました。積極的な発言・提言がありましたので、いくつか紹介します。

「人事異動を総合支所間のみならず、本庁・総合支所間で積極的に行ってほしい。」「合併後の奥州市の統一ブランドを早く確立してほしい。」「文書作成の共通理解を促進するため、ガイドブック的なものが欲しい。」「方針や方向性を早めに現場に知らせてほしい。また、現場への調査ものは、とりあえずメールで予告して十分な調査時間が取れるようにしてほしい。」

次に、来年4月からの組織機構改革ですが、昨年度末の市議会での論議等を踏まえ、総合支所における住民サービス機能の確保を前提に、本庁機能を強化し、また、課題となっていた、本庁と水沢総合支所のエリアを明確に区分することとし、更には市長部局の人員で狭隘となる本庁庁舎から行政委員会等を総合支所庁舎に分散配置し、併せて、同支所スペースの有効活用を図ることなどを目指したものです。

大きな機構改革は、これで一段落と考えており、今後、議会等に十分説明してまいります。

職員の皆さんには、この組織機構改革により、一層の市民サービスの向上が図られるよう努められるとともに、今後とも市民の目線に立ち、その思いを汲んで業務に邁進されるようお願いいたします。

今、市民ぐるみでウォームビズ運動に取り組んでいます。趣旨をご理解の上、保温策も講じ、体調を整えられて、存分にご活躍ください。

敬具

平成19年11月26日



水沢農業公社生
産のプリムラ

(冒頭の写真注) 前列向かって右から、松沢神奈川県知事、北川審査委員長(早稲田大学大学院教授:元三重県知事)、東国原宮崎県知事、2人おいて私

H19.12.25(火)

拝啓 家々の軒に吊るされた干し柿が、つとりとその色を深めていると感じていたら、もうクリスマスになってしまいました。

お元気ですか。常日頃のご奮闘に感謝いたします。

12月18日、12月定例会が終わりました。いつになく長い議会とも感じられました。それは、一つには組織機構にかかわる部設置条例案について、最終日採決とし、それまでの間、一般質問や議員説明会において多くの議論が重ねられたからかも知れません。

無論、産業経済部を商工観光部と農林部に分割すること自体に異論は、無いのですが、総合支所から職員が減ること、それによる住民サービスや地域活力の低下の心配、本庁と水沢総合支所のあり方への異論、教育委員会等の行政委員会の分散配置への不安などが、多く出されたところです。



京都の清水寺森清範(もりせい
はん)貫主に奥州大使の委嘱状
をお渡しする

この行政組織機構の全体像については、これまでの基本方針を堅持しつつ、必要な調整も含めて細目を確定させ(1月中)、さらに、2月上旬に予定されている市民懇談会でも十分説明してまいります。

さて、間もなく新年を迎えるに当たり、次のようなことを考えております。

今後、職員のみなさんとの議論や様々な分野の方々のご意見も踏まえながら、新年度市政方針や予算に生かして参ります。

1 基本的考え方

新生奥州市誕生から 2 年を経過し、“最初の 4 年”の折り返し点に入る。このため、合併の成果の検証を行い、市民に説明するとともに、合併の効果を高めるための新たな課題に果敢に挑戦するものとする。

また、最初の 2 年間で土台を築いた、総合計画、行財政改革計画、新市建設計画を推進し、マニフェストを着実に実施するとともに、合併時からの問題の解決の道筋をつけ、副県都への着実な歩みを強力かつ積極的に進めるものとする。

2 重点事項(順不同・一部重複あり・今後追加あり)

(1) 平泉の世界文化遺産登録を梃子(てこ)とした文化・観光・産業振興の新たな展開

(2) 組織機構改革の着実な実施と職員の総合力発揮の仕組みづくり。

NPM 運動の継続実施、また、管理職による業務達成目標の設定と検証(新規)

(3) 副県都構想の樹立と推進
並びに副県都を目指す 3 つ
の戦略プロジェクト(市総合
計画)の着実な推進

(4) 新しい地域づくりのシス
テムとしての地区センター構
想の地域の実情に合った形で
の全市的展開



東京都内有楽町付近のイルミネーションから(クリスマスツリー風 ?)

(5) 自治基本条例の市民合意を得た上での制定

(6) 総合水沢病院の基本的・抜本的経営改革等の立案と実施(ストップザ赤字拡大作戦)

- (7) 岩手競馬の経営安定化確立
- (8) 土地開発公社の経営健全化案の樹立と実施
- (9) マニフェストの着実な実施と外部評価の導入
- (10) 行財政改革の着実な実施、政策評価システムの定着化、また、要求枠の設定などの財政改革
- (11) 市民との対話を深めるため、市内 30 箇所での市民懇談会の開催
- (12) 新農政への円滑な移行等を通じた農業振興、産学官連携・企業誘致を生かした工業振興、中心市街地活性化策を機軸とした商業の振興
- (13) 新市建設計画・総合計画に位置づけた事業の着実な実施
- (14) 地域通貨、住民参加型市場公募債発行、寄付による投票条例など新進施策の導入
- (15) その他

この 1 年間、本当にご苦労をお掛けしました。年末年始は、ゆっくり疲れを落とされ、新年に向けての英気を養っていただきたいと思います。どうぞ、良いお年を ！

敬具

平成 19 年 12 月 25 日

市長 相原 正明

H20.1.24(木)

拝啓 地球温暖化とは無縁のようなきりりとした冷え込みの中に、清々しさを感じ、今年の幸多きことを思わず願っております。

どうぞ本年も宜しく願いいたします。

今週に入って、私は、毎晩のように舞台稽古に励んでおります。というのは、1 月 27 日(日)

に江刺体育文化会館ささらホールで開催される、奥州市民☆文士劇「水戸



奥州市民☆文士劇「水戸黄門」ポスター

黄門」の奥州総奉行役に” 拔擢” されたからです。

台詞(せりふ)は、「ハハッー」という箇所を含めて6箇所ですが、マイクなしで会場の奥まで声を届かせるのが大変で、そのほか、動作を大きく見せる必要があるなど、いろんな意味で勉強になります。

こうした演劇は、前沢区や胆沢区でも盛んですが、開幕に向かつてのエネルギーの高まくりが素晴らしく、明日の地域の活力に結び付くこと請け合いです。

1 月も後半に入り、年度の仕事の総仕上げの段階ですし、また、来年度の仕事の段取りの追い込みに入ります。私としては、当面次のようなことを考えています。

まず、新年度からの組織機構の最終の詰めと行政委員会の分散配置の確定です。後者の方は、本庁の空きスペースがなくなることから、また、人員が減少する総合支所庁舎の有効活用と地域の活力の増進のため、行ってまいります。

なお、三つの一部事務組合(胆江広域水道企業団ほか 2 組合)の統合議案については、1 月 18 日の臨時議会で継続審議となりましたので、早期成立を目指してまいります。

2 月 2 日から 4 日まで、市内 5 箇所で開催する市民懇談会においては、自治基本条例、いわゆる 0.4% 条例、新年度からの行政機構改革などについて、市民の皆さんに説明してまいります。

今年度の特徴的な大きな部分としては、総合水沢病院の抜本的経営改革のとりまとめと金ヶ崎町・平泉町を対象とした市町村合併研究会の取りまとめがあります。

1 月末の新年度予算の市長査定、2 月中旬にまとめる施政方針演述において、さらに全体的に具体の施策を明らかにしてまいります。

さて、ほとんどの職員の方々に参加していただいた「一人一改善運動」ですが、私も” 公約どおり” 一人一人の提案



庭の南天(参考:花は夏の
季語となり、実は冬の
季語となる)

すべてに目を通してみました。

多くは、身近な課題改善の内容でしたが、肩の力を抜いた提案、切実な提案を、新たな発見をする思いで、楽しく、また、感心しながら読ませていただきました。

多くの方が寄せた、「来客(市民)を笑顔で迎え、また、気軽に声をかけよう」という提案が、何故か新鮮に響きました。

今後、発表会や表彰などを経て、具体的に実践してまいります。

何事も最初が肝心と申します。この年の初めに、一丸となって、力強く離陸したいものです。

ご健勝で活躍されることを期待いたします。

敬具

平成 20 年 1 月 24 日

市長 相原正明

H20.2.25(月)

拝啓 今冬の降雪は、多からず少なからずであり、お陰様で程よい雪景色を楽しんでおりますが、いかがお過ごしですか。

毎日のご奮闘ご苦労様です。

今回は、私も参加した、二つの代表的な冬の祭りの写真を掲載しました。



2 月 9 日、胆沢野球場特設会場で行われた第 19 回全日本農はだてのつどいは、穏やかな好天と適度の積雪のなかで行われ、改めて、地域の伝承文化を大切にしたいこの祭りの良さを印象付けた感じでした。クライマックスの福俵引きと最後の冬空花火を十分堪能致しました。

全日本農はだてのつどい

2 月 13 日には、黒石寺の蘇民際に参加しました。今回は、ピーアール用ポスターが JR 東日本サイドに提出を拒否されたことから、一気に全国ニ

ユースとして取り上げられ、一説には、約 15 億円の広告宣伝費に相当する効果があったということでした。その晩の現地の人出は、平日のせいかな目だったものの、本格的なカメラを手にしたマスコミ関係者が異常に多く、関心の高さをうかがわせました。私自身は、小雪の舞う中を” ジャッソウ、ジョヤサ” の掛け声を出しながら、無事、夏参りを終えたところです。祭り全体も慎重、かつ、適切に実施され、成功裏に終えることができたと思います。



黒石寺蘇民祭

さて、議会で継続審査となっておりました三つの一部事務組合(胆江地区広域行政組合・胆江地区消防組合・胆江広域水道企業団)の統合が、2月21日特別委員会で、更に、翌日本会議で可決されました。1月18日の臨時議会に同時提案した金ヶ崎町では可決されていなかったので、安堵した次第です。4月1日から「奥州金ヶ崎行政事務組合」としてスタートします。簡素で効率的な組織、より強力な組織を目指した統合です。趣旨が生かされるよう努めてまいります。

職員の皆さんは、それぞれ年度末に向かって追い込みに精を出されていることと思います。私としても、いくつか意識していることがあります。

一つ目は、総合水沢病院基本問題検討委員会(委員長は市長)の方針取りまとめです。合併協議の際の課題の一つでもあった経営健全化を、この際、不良債務の解消を含む抜本的な形で実行し、後年度の明るい展望につなげたいと考えています。今月中に中間報告を取りまとめ、市議会との論議を経て、年度内に最終取りまとめを行う予定です。

二つ目は、奥州市広域市町村合併研究会(委員長は副市長)における合併資料作成です。私の公約である金ヶ崎町と平泉町との合併を推進するため、18年度から調査研究を進め、昨年12月には研究会を立ち上げ、取り組んでいるものです。年度内にまとめ、市議会に報告するとともに、新年度早々、両町首長と知事に説明したいと考えています。その後の展開については、奥州市民を含めた民意の盛り上がりが鍵と思っております。

三つ目に、職員意識改革と能力開発、更には、業務実績の向上を目指し

た、新しい人材マネジメントに関する取り組みです。管理職員の目標設定と実績評価(自己評価含む)の実施のほか、補佐・係長級職員の業務遂行能力の自己評価と能力開発研修を行なう考えです。年度内に要領を定め、新年度に入りましたら、講演会や導入研修会を行いながらスタートしてまいります。

年度末に向かって何かと心身に無理がかかるかも知れません。くれぐれも体調管理に努められながら、ご活躍願います。

敬具

平成 20 年 2 月 25 日

市長 相原 正明

H20.3.24(月)

拝啓 春分の日が過ぎると暖かさが、一気に増して、ついコートをわすれがちになります。



お元気ですか。毎日のご奮闘に感謝いたし [市議会 2 月定例会本会議風景](#) ます。

3 月 19 日、ほぼ 1 ケ月にわたった市議会定例会が終わりました。この議会は、来年度に向けての施政方針を明らかにし、予算を確定させる大事な場でもあります。勢い、論戦にも熱が入ります。終了して、思わずホッと足取りが軽くなります。

また、この議会は、退任の区長、部課長にとっては、議場での最後の答弁の場になりました。感無量のことと思います。改めて永年のご尽力に感謝し、ご活躍に敬意を表します。

なお、答弁を通じて約束したこと、予算にかかる付帯意見などは、きちんとフォローして実現に努めなければなりませんので、よろしくお願い致します。

同日は、20 年度定期人事異動の内示の日でもありました。本庁機能強化・

総合支所窓口機能充実などを目指した機構改革の関係で、大幅な異動となりました。昨年 1 割程度の総合支所間異動でしたが、今年は、2 割程度を目指し、結果的には、23.5%となりました。意識の面を含めて、一層の一体感の形成をお願いしたいと思います。

私のマニフェストとの関連もあり、女性職員の登用にも意を用いましたが、新たに係長以上の職に昇任した者の 42%の登用率となりました。ちなみに、全職員に占める女性の割合は、44%であり、また、係長以上の女性の割合は、21%となっています。

男女を問わず、個性豊かに、能力を発揮されることを期待しております。

なお、今回、総務部長に県から事務系の職員、健康福祉部長に厚生労働省から医系技官(医師の資格のある職員)の派遣を頂きました。職場に新しい風を起こしながら、全体としてパワーアップを図っていきたいと思います。



オオイヌノフグリ

(ヨーロッパ原産の外来種)

この年度末は、機構改革や行政委員会の分散配置に伴う引越し作業があり、大変なものと存じます。そうした中で、事務の引継ぎに十分留意願いたいと思います。書類に書ききれない点など面談でしっかり繋いで下さい。

合併 2 年目の今年度は、無我夢中で策定した新市建設計画、行財政改革計画、市総合計画を実質的に軌道に乗せる、いわば疾風怒濤(しっぷうどとう)の 1 年でした。職員の皆様のご尽力に改めて感謝いたします。

特に、今回で退任される皆様の永年にわたるご活躍に心から御礼申し上げます。今後の一層のご健勝・ご活躍をお祈りいたします。

間もなく、新年度。合併の成果の拡大・副県都の創造のため、新組織・新陣容の下、全力で駆け抜けたと思います。

心身の英気を養いながら、ご活躍されるようご期待いたします。

敬具

平成 20 年 3 月 24 日

市長 相原 正明